

小 春 日 和

こ は る び よ り

2017年 第35号

発 行

愛媛県立中央病院

松山市春日町83番地

TEL:089-947-1111

<http://www.eph.pref.ehime.jp/epch/>



平成29年度の運営方針

愛媛県立中央病院長 西 村 誠 明

日本の医療費は、社会保険制度に基づいて、平等に全員が同じ医療を受ける事が出来て、医療費も同じです。

しかし、これからは、次第に働く年齢層が減少するので、税収入も社会保険収入も減少します。一方、年間医療費の高い75歳以上の高齢者は増加となり、社会保険制度の維持も難しくなり始めています。このことから、医療費抑制の必要性に迫ら

れています。

また、働く人が減少するので、一つの病院で予防医療から高度な医療まで行うのは効率が悪く、人手も足りなくなります。

地域全体の医療を区別して、すなわち、予防医療や健診専門医療機関、かぜや下痢などの際に受診するかかりつけ医、入院を必要とする患者を診る急性期病院、生命に関わる疾患を診る超急性期病院、自宅での生活が出来るようにするリハビリ病院などに分かれるようになります。

これらの医療機関が連携する事はさらに重要となっています。

当院は平成28年4月より、松山市の二次救急輪番病院から、輪番病院の後方支援病院となりました。このことにより、地域の診療所や病院から紹介がある時、高度な外傷や脳卒中や心筋梗塞など生命の危機にある際には、ご紹介さえ頂ければ、365日、救急輪番でなくても、必ず、診察出来る病院と変わりました。

救急輪番病院から、いざという時に頼られる病院へと変化する事により、いつでも高度で良質な医療提供が出来るようになりました。

このような急性期機能を持つ当院は、入院医療を中心として運営する必要があり、安定すれば地域の診療所や病院を受診するようお願いする。つまり、地域の先生方と連携しておりますので、かかりつけ医を持つ事へのご理解とご協力を今後もお願いします。

就任あいさつ

愛媛県立中央病院 看護部長 菅 朋 子

平成29年4月、看護部長に就任いたしました菅です。よろしくお願いいたします。

当院は、病院理念である「県民の安心の拠り所となる病院であること」を目指し、県内の救急医療の最後の砦としての役割を果たしています。

そして、安全、安心な医療、看護の提供をめざし、病院を挙げて医療の質の改善活動に取り組んでいるところです。

看護部は、「常に看護の本質を追及し、ぬくもりのある質の高い看護を提供する」を看護部理念として掲げ、看護の基本である優しく思いやりの心を持って患者さんに寄り添う看護を目指しています。

国は、超高齢社会に向けて、2次医療圏における病院機能の分化を推し進めており急性期に期待される看護の役割も変化しています。このような状況の中で、当院の役割である高度急性期機能に対応できる専門性の高い看護実践はもちろん、急性期治療の段階から重症化予防や日常生活機能、認知機能の低下予防を重視し、医療処置や病気の自己管理をしながら、その人らしい生活が送れるよう取り組んでいます。

今は、地域全体で患者さんを治し支える時代です。そのためにも地域の医療施設や福祉の方々とこれまで以上に連携を強化するとともに、地域包括ケアシステムにおける急性期病院としての役割を果たしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。





就任のごあいさつ

愛媛県立中央病院 医局長 松岡 宏

4月1日に医局長に就任いたしました松岡です。
 医師になって2年目からの3年間で研修して以来、約30年ぶりの県立中央病院勤務です。

これまでの約25年間で県立今治病院で勤務して、帰ってまいりました。というか、当時に一緒に仕事をした職員は皆無で、荒波に放り出された小船といった状況です。

診療棟のスタッフ階段を登るように、右も左も上も下も分からない状態ですが、できるだけ早く、行き先が分かるように頑張っていきたいと思っております。「あのドアの向こうが、行き先のカテ室ですよ！」と、しばらく慣れるまでは、やさしい道案内をよろしくお願ひします。

院内を歩いていますと、今治病院で一緒に働いたことのある職員があちこちで気軽に声を掛けてくれます。うれしいことです。ありがとうございます。(歳なので名前がすぐに出てこないこともあることをお許しください。)

さて、この医局長という役職ですが、名前にとらわれず、医師の職種だけでなく、コメディカルや事務の皆さんを含めた病院全体のために働くのが仕事だと思っております。

また、愛媛県の医療を支える人材がこれからも今まで以上に当院から育ってくれることを支援するのも役割だと思っております。

最後に、私の人生訓としている、医師であり、台湾の発展と関東大震災復興に尽力した後藤新平氏の言葉をお借りいたしまして、就任のごあいさつとさせていただきますと思っております。

私も、財を残すことはもうできません。よろしくお願ひいたします。

「財を残すは下なり。業を残すは中なり。人を残すは上なり。」

医師の異動 (29. 3. 31～29. 6. 1)

診療科等	転入	転出
	氏名	氏名
副院長		奥田 文悟
		西山 誠一
センター長		北出 公洋
医局長	松岡 宏	
麻酔科	泉本 恵理	
産婦人科	阿南 春分	真川 祥一
	島田 京子	
小児科	徳田 桐子	手束 真理
	吉田 安友子	勢井 友香
消化器内科	山子 泰加	須賀 義文
	植木 秀太郎	宮本 勇治
	金藤 美帆	
消化器外科	徳田 和憲	古手川 洋志
	相原 法昌	神崎 雅之
	沖川 昌平	
呼吸器内科	近藤 晴香	
呼吸器外科	松本 理宗	溝口 聡
血液内科	櫻井 安紀	
	上田 怜	

診療科等	転入	転出
	氏名	氏名
放射線科	福山 直紀	川口 直人
	宮本 加奈子	田代 らみ
	高門 政嘉	石川 浩史
	吉田 和樹	
泌尿器科	中島 英	谷本 修二
		辻岡 卓也
		飯尾 浩之
神経内科		松本 雄志
脳神経外科	藤原 聡	井上 明宏
循環器内科	小崎 哲也	木下 将城
	細川 沙生	
整形外科	山岡 慎大朗	
耳鼻いんこう科	中田 貴大	
形成外科	田中 克弥	濱田 裕一
眼科	小林 武史	唐松 純
	飯森 宏仁	石川 恵里
	奥嶋 奈美	
リハビリテーション科		鴻上 繁
総合診療科		村上 晃司

食中毒を予防しましょう

食中毒は1年中発生しますが、梅雨から夏の時期は「細菌」の増殖が活発になるので注意が必要です。飲食店だけでなく家庭でも発生しています。

食中毒の原因となる菌はたくさんありますが、なかでも鶏や牛の腸にいる細菌「カンピロバクター」や、主に牛の腸にいる「腸管出血大腸菌 (O157、O111)」による食中毒が増えています。



少量でも感染し、菌が体の中に入ると、2日～7日位で、発熱や激しい嘔吐、下痢等の症状が現れます。

特に、抵抗力の弱い子供や妊婦、高齢者は症状が重くなるので注意が必要です。

カンピロバクターは市販の鶏肉の約7割から検出されています。

『「新鮮だから安全」ではありません』

食中毒の予防として、新鮮でも生の肉や、加熱が不十分なものは食べない。過熱を十分にする。生肉に触れた手やまな板を洗うことで、野菜やほかの食品にも菌が付着するのを予防する。

このように「つけない、増やさない、やっつける」で食中毒を予防しましょう。



医療安全管理部だより

No. 3 1

今、世の中では多肉植物がブームになっているのはご存知ですか？
なぜ、多肉植物なのでしょう。プニプニした質感？寄せ植えのかわいさ？
育てるのに、失敗が少ないからかなあ？



さて、「人間^{じんかん}万事塞翁が馬」という言葉をご存知でしょうか。

幸福や不幸は予想のしようがない事の例えです。幸せだと思っていたものが不幸の原因になったり、禍(わざわい)の種だと思っていたのが、幸運を呼び込むことも有るという意味もあります。

人生はいいこともあれば悪いこともある、焦らない、イライラしない、ゆっくりのんびり期を待てば、してみたいと思うことをするための時間は必ず回り込んでくると信じましょう。

焦ったり、イライラしたりすると人間心を失います。そうすると、人との関係性が悪くなったり、少しのことに怒りを持つようになっていたり、周囲の環境はさらに悪くなります。

本当に、悪いことばかりが続くことはありません、きっと良いこともあるのです。

ただ、小さな良いことに気が付くかどうかはあなた次第です。焦ったり、悲しんだり、多忙感を感じたりするのは、誰でもない、あなた自身です。あなたの感情をコントロールできるのはあなたしかいません。

自分の今の心の感情の具合いをのぞいてみてください。そして自分の感情に気付いてあげてください。きっと、自分に優しくなれますよ。

病院の中は、しんどくて来ているのに待ち時間があるし、思うように検査や医師の診察を受けられないかもしれません。

でも、その時間を有効に使って、医師にこんなことを聞いてみようなど、自分の伝えたいことを整理する時間にもなると思います。

言いたいことを整理できれば、医師にも伝わりやすいし、話がうまくいくこともあります。

待ち時間をこんなふうにご覧して見るのも、心の安寧を保つためにはいいことかもしれません。



病病連携・病診連携

連携医療機関のご紹介～第6回～

※当院は、平成22年10月29日に『地域医療支援病院』の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって互いに連携を図っている医療機関を随時ご紹介させていただきます。(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

Ⅷ 医療法人聖光会 鷹の子病院



- 所在地：松山市鷹子町 525 番地 1
- TEL：089-976-5551 ○FAX：089-976-5572
- 診療科目：脳神経外科、耳鼻咽喉科、内科、循環器内科、糖尿病内科、消化器内科、呼吸器内科、内分泌・代謝内科、眼科、小児眼科、リハビリテーション科、放射線科
- 病床数：72 床
(一般病床 52 床・地域包括ケア病床 20 床)
- 外来診療時間 平日：午前 9:00 ～ 12:00
午後 14:00 ～ 17:00
土曜：午前 9:00 ～ 12:00
(休診日：日曜日、祝日、8月14日・15日、年末年始)
- 病院の基本理念：『地域の皆さまとの相互信頼に基づく良質で適切な医療の提供』

○病院の概要：

- ・昭和 57 年の開設
- ・各診療科の連携により地域の患者様の脳～心血管疾患の管理、生活習慣病の予防・治療、特に耳鼻咽喉科・眼科領域では専門的手術治療も行っています
- ・通院が困難な患者様には併設の訪問看護ステーション等と連携し訪問診療も行っています
- ・脳血管、心臓、呼吸器、運動器の各種リハビリも充実しており、365 日のリハビリテーションを実施する等、患者様の一日も早い在宅日常生活復帰を支援しています

Ⅸ



医療法人 結和会
松山西病院

- 所在地：松山市富久町 360 番地 1
- TEL：089-972-3355 ○FAX：089-965-2477
- URL：<http://www.yu-wakai.or.jp>

- 診療科目：泌尿器科(人工透析)・内科・消化器内科・循環器内科・放射線科・リハビリテーション科
- 病床数：102 床 (一般病床 42 床、療養病床 60 床)
- 透析ベット：61 床 (平成 24 年 8 月新透析棟竣工)
- 外来受付時間 平日：午前 8:30～11:30 午後 13:30～16:00
木曜・土曜：午前 8:30～11:30 (休診日：日曜日・祝日・年末年始・8/15・10/7)
- 病院の基本理念：『笑顔のあふれる病院』



- 基本方針：1. 患者さんの笑顔が見られるよう、病院スタッフ一同笑顔で対応します。
2. 病状や治療方針を適確に説明し、納得のいく適正な医療を行うことを心がけます。
3. 地域の医療機関との連携を図り地域医療に貢献するとともに、地域の透析医療機関との密接な連携を図り、病床をもった透析医療機関としての役割を果たします。